

マリレ情報よろず屋

平成28年3月発行第42号

第二管区海上保安本部

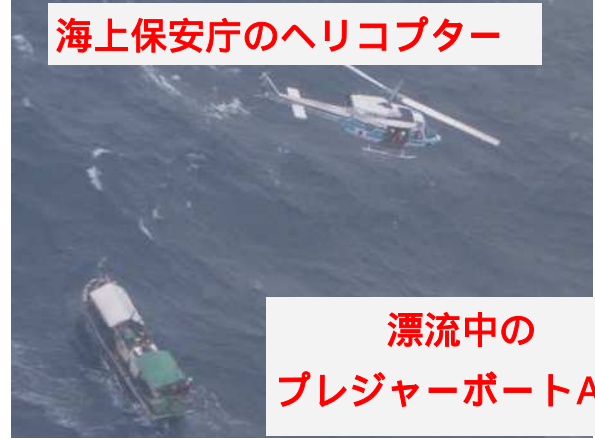
マリレジャー安全推進室

平成28年2月の船舶海難は機関故障が1件ありましたが不可抗力によるものでしたので、昨年に機関故障で最も多く発生した燃料系故障の事例を紹介します。

平成27年8月発生（酒田港沖）

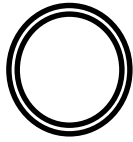
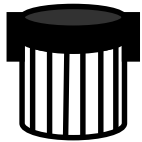
プレジャーボートA丸は釣を終え帰港中、突如エンジンが異音を鳴らし停止しました。自力での復旧を試みましたが、復旧できず漂流、知人と妻に連絡し、妻が118番通報しました。乗船者1名は海上保安庁のヘリコプターに吊り上げ救助され、A丸は巡視船に曳航され帰港しました。

海上保安庁のヘリコプター



漂流中の プレジャーボートA丸

燃料フィルターの詰まりに加え、燃料こし器のパッキン不良により、燃料系統に空気が混入し、燃料供給不足に陥ったことが原因でした。船長は燃料フィルターが詰まり、交換など整備が必要であることを認めていながら、整備を怠っていました。



定期的に
掃除・交換！

燃料フィルター パッキン



燃料フィルターやパッキンは定期的に交換しようね

ワンポイント講座

機関故障を未然に防ぐため、出港前にしっかり整備点検をしましょう！

船体のチェックポイント

船体に亀裂や穴はないか？
ステアリング、クラッチレバーは滑らかに動くか？
係留ロープに傷、変形はないか？



燃料系統のチェックポイント

燃料油量は十分か？
燃料フィルターに目詰まりはないか？
燃料タンクに水が溜まっていないか？



冷却水系統のチェックポイント

海水用こし器の目詰まりはないか？
冷却水量は十分か？
冷却海水排出量は正常か？



電気系統のチェックポイント

バッテリーは十分な電圧か？
配線、端子の劣化、緩みはないか？
プラグ、スターターモーターに異常はないか？



事故事例（帰還不能/宮城）

事故者2名は、浜辺からビニールボートB丸に乗船し、手漕ぎで沖に向かい、風浪で沖に流され戻れなくなりました。事故者等は救命胴衣を着用しておらず、携帯電話も持っていませんでした。水難救済会の船がB丸を発見した時には船内に海水が浸入し、空気も少ない状況で漂流しており、大変危険な状況でした。



ビニールボートB丸



漂流中のB丸 北西の風10m 大きなうねりなし

風や波で流されやすく、陸に戻れなくなり危険だよ！



過去には、手漕ぎビニールボートで無人島に向かった少年らが遭難、1名が行方不明となる事故が発生しています。

原因と対策

事故者等の気象海象への不注意が原因でしたが、そもそも手漕ぎのビニールボートで沖を遊走すること自体、無謀と言わざるをえません。写真を見る限り、海水浴などで使用する遊具程度のものと思われる。ビニールボートは、岸に近く、他の人達から見える範囲の安全な場所で使用しましょう。

ワンポイント講座 南岸低気圧の危険性について

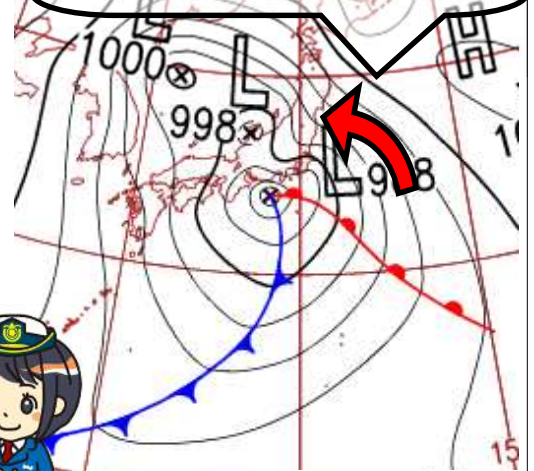
南岸低気圧とは、発達しながら日本列島の南側を東に進む低気圧を言い、関東地方に雪を降らすことでも知られています。

危険性

東北地方の太平洋側海上に東寄りの強風や高波！ 港内において、防波堤を越える高波のおそれ！

今年に入り、南岸低気圧の影響で小型漁船が転覆する事故が多発しています。早めに転覆・流出防止のため陸揚げなどの対応をとりましょう

東北太平洋側で東寄りの強風や高波が発生！



(南岸低気圧) (天気図)



マリレ情報よろず屋

～バックナンバーはこちら～

MICSスマートフォン用サイト

(沿岸域情報提供システム)

